

公益財団法人 新潟市スポーツ協会
令和元年度 第2回理事会議事録

1. 日時 令和2年1月8日（木曜日） 自15時30分 至16時30分
2. 場所 ラマダホテル新潟 新潟市中央区弁天1-2-4
3. 理事現在数及び定足数
現在数 25名 定足数 13名
4. 出席状況
 - (1) 出席理事（22名）
副会長：山内春夫、荻荘 誠、坂上 昭、中静浩一、前田秀子
専務理事：木津 茂
常務理事：武藤正明
理事：青木祐一、五十嵐治、磯部 博、大山利幸、久保田吉汎、
小池 功、齋藤喜慶、坂井貞夫、塩田純三郎、中倉一浩、
羽下 仁、藤田 淳、松尾正行、松木 保、丸山和子、
 - (2) 欠席者（3名）
中原八一（会長）、大森 豪、田村千恵子、
 - (3) 出席監事（3名）
中野 力、鈴木 厚、川島朝臣
 - (4) 議案説明及び報告
木津専務理事、椎谷事務局長

定刻、冒頭に中原会長が所用により欠席のため、山内副会長が挨拶を述べた後、議長は本協会定款第33条2項により山内副会長が議長となり、開会を宣言した。事務局は、理事現在数25名、うち出席者22名、欠席者3名により、公益財団法人新潟市スポーツ協会（以下本協会という）定款第34条第1項にもとづき、本理事会は適法にして有効に成立している旨、報告を行なった。

議長は、当協会定款第36条第2項にもとづき、議事録記署名人は出席した副会長及び監事になる旨を告げた。

5. 議決事項

- 第1号議案 第21回ジュニア優秀競技者表彰 被表彰者の選考について
第2号議案 第10回スポーツグランプリ表彰 被表彰者の選考について

6. 報告事項

- (1) 第52回スポーツと音楽都市宣言記念スポーツ部門功労者表彰受賞者について
- (2) 賛助会員功労賞贈呈について

7. 議事顛末

第1号議案 第21回ジュニア優秀競技者表彰被表彰者の選考について

議長は第1号議案について上程。椎谷事務局長は、12月19日に総務委員会を開催し、表彰候補者を決定したことを報告した。その後、ジュニア優秀競技者表彰規程に基づき、候補者（10競技種目36名）について資料により説明を行った。

（坂上副会長）都道府県競技団体が主催の大会成績があるが、大会規模を説明してほしい。

（事務局）東京都の主催ではあるが、女子レスリングの三大大会である。

（齋藤理事）全中大会の優勝者は同時期に海外遠征をしているため、全中優勝者以外が出場している形である。

（坂上副会長）若く将来ある選手を表彰して更に活躍してもらう意味もあると思うが、80万人の政令市のスポーツ協会としては、優秀競技者として表彰するのであれば見送りとしても良いと思う。

（塩田理事）同じようなケースは他の競技団体でもあると思うが、それぞれの協会の責任をもって推薦していることを尊重するならば表彰しても良いと思う。

（中倉理事）総務委員会の意見を尊重して、今回は表彰することとし、今後規程や内規の見直しをしてはどうか。

議長は、各中央競技団体の主催大会以外の大会については、参加人数などの開催状況を共有する必要があると考えたと述べた。また、今回については、総務委員会の意向を尊重して原案通り全員を候補者とするが、来年度以降はこの課題について総務委員会で検討してほしいと述べた。

慎重審議の結果、全ての候補者の受賞が出席理事全員一致で承認された。

第2号議案 第10回スポーツグランプリ表彰被表彰者の選考について

議長は第2号議案について上程。木津専務理事は、スポーツグランプリ表彰規程に基づき、12月19日に総務委員会を開催し、グランプリおよび特別賞候補者を選定し、会長に推薦した旨を報告した。その後、各候補者の成績等を資料により説明した。

慎重審議の結果、スポーツグランプリは栗田楓選手（少林寺拳法）、特別賞は曾我賢太郎選手（陸上）、栗田湖有選手（スポーツクライミング）、新潟医療福祉大学水泳部とすることが出席理事全員一致で承認された。

報告事項

（1）第52回スポーツと音楽都市宣言記念スポーツ部門功労者表彰受賞者について

椎谷事務局長は、第52回スポーツと音楽都市宣言記念スポーツ部門功労者表彰受賞者について、本会推薦者6名、スポーツ振興課推薦者3名の計9名が令和元年11月25日に表彰を受けたことを報告した。

(2) 賛助会員功労賞贈呈について

椎谷事務局長は、賛助会員に関する規程第6条(4)により、10年以上の継続会員に対する感謝状の授与について今年度は個人7名、団体・法人2団体が該当している旨を報告した。

8. その他

(1) 新年祝賀会について

椎谷事務局長より新年祝賀会を2月6日に開催する旨説明があった。

(2) 理事会(1月)および表彰・新年祝賀会の開催時期について

木津専務理事は、1月の理事会および表彰・新年祝賀会の開催時期について、同時期において会長の業務が多忙であることから、それぞれ例年より1週遅らせての実施を検討している旨説明があった。

塩田理事より、1月はスキー競技の県総体、2月はインターハイと重なるとの意見があり、次年度のスケジュールについては事務局で今後調整することとなった。

以上をもって議案の審議等を終了したので、16時30分、議長は閉会を宣して解散した。

上記の決議を明確にするため、出席した副会長及び監事は次に記名押印する。

令和2年1月8日

公益財団法人新潟市スポーツ協会 令和元年度第2回理事会

議 長 山 内 春 夫

監 事 中 野 力

監 事 鈴 木 厚

監 事 川 島 朝 臣